

新市庁舎整備事業について

1 事業者選定について

設計・施工一括発注方式を採用した横浜市市庁舎移転新築工事について、12月4日に落札者を決定しましたので報告します。

(1) 入札手続きの経過

日 程	内 容
平成27年4月20日	第1回横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会 〔技術提案等の評価項目及び評価基準の審議〕
6月16日	入札公告
6月16日～7月22日	入札参加資格確認申請の期間
6月16日～30日	第1回質問受付期間（計455問の質問）
7月15日	第1回質問に対する回答
8月4日	一般競争入札参加資格確認結果通知書の送付
8月25日～26日	第2回質問受付期間（計72問の質問）
9月9日	第2回質問に対する回答
10月8日～13日	技術提案資料の受付期間及び入札期間 （5者から技術提案資料受付及び入札）
11月19日	第2回横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会 〔技術提案等の審査及び評価〕
11月27日	開札及び評価値算出
12月4日	落札者の決定、仮契約の締結

(2) 横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会

入札参加者から提出された高度技術提案に対する審査及び評価を行うことを目的に、横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会を設置し、2回の委員会を開催しました。

ア 評価委員（任期：2年）

	委員名	現職名	：主な専門分野
委員長	嘉納 成男	早稲田大学創造理工学部教授	：建築生産
委員	岩野 多恵	国土交通省関東地方整備局横浜営繕事務所所長	：官庁営繕
委員	北村 春幸	東京理科大学理工学部学部長	：耐震技術、超高層建築物
委員	国吉 直行	横浜市立大学国際総合科学部特別契約教授	：意匠・都市計画
委員	田中 稲子	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授	：建築環境・設備

(敬称略 平成27年4月時点)

イ 第1回評価委員会開催報告

日 時	平成27年4月20日(月) 15時30分から17時50分
開催場所	横浜新関内ビル 11階会議室
出席者	嘉納委員長、岩野委員、北村委員、国吉委員、田中委員(欠席者:なし)
会議形態	一部非公開(傍聴者6名)
議 題	(1)委員長の選出 (2)運営要綱(案)の確認 (3)技術提案等の評価項目及び評価基準の審議

第1回委員会では、新市庁舎整備基本構想や新市庁舎整備基本計画をふまえ、新市庁舎が求める性能のうち重要かつ高度な技術が必要な項目を抽出し、技術提案の評価項目を設定しました。

具体的には、大地震発生時における業務継続を考慮した耐震技術や、環境未来都市にふさわしい環境技術などに加え、低層部及び高層部の建築・構造・設備と建築デザインに関する総合的な提案、こうした高度技術を確実に実現させるための設計・施工のプロセス、体制や取組姿勢に関する提案など5つの項目に整理し、それぞれの評価基準及び配点を定めました。《資料1、2 参照》

ウ 第2回評価委員会開催報告

日 時	平成27年11月19日(木) 13時から19時
開催場所	関内トーセイビルⅡ(旧横浜新関内ビル) 11階会議室
出席者	嘉納委員長、岩野委員、北村委員、国吉委員、田中委員(欠席者:なし)
会議形態	非公開
議 題	(1)プレゼンテーション・ヒアリング (2)技術提案等の審査及び評価

第2回委員会では、まず、技術資料等に関する入札参加者からのプレゼンテーション及び評価委員によるヒアリングを行いました。

その後、評価委員による意見交換を経て、それぞれ「具体的評価項目」ごとに評価基準に基づく評価を行っていただき、5名の平均点を委員会の評価点とすることを委員全員で確認しました。

5つの「評価項目」(Ⅰ～Ⅴ)の合計を「加算点」とし、発注仕様書に記載された必須事項(規模、諸室・設備の内容、耐震・環境基準など)を満たしている場合に一律付与される「標準点」100点を加えたものを「技術評価点」としました。《資料3 参照》

(3) 入札結果

11月27日に開札を行いました。横浜市市庁舎移転新築工事では、企業の独自技術や工法・ノウハウを幅広く取り入れるとともに、価格面での競争も行う「高度技術提案(設計・施工一括)型総合評価落札方式」を採用し、事業者の技術力と入札金額の双方を総合的に評価した「評価値」が最も高い者を落札候補者としました。

<p>評価値の算出方法</p> $\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点(標準点(100点)+加算点(最高60点))}}{\text{入札金額}} \times 100,000,000$
--

入札参加者	評価値	入札金額(税抜き)	技術評価点	結果
竹中・西松建設共同企業体	0.2209	62,900,000,000 円	139.0	落札
大成建設株式会社	0.2194	62,600,000,000 円	137.4	
株式会社大林組	0.2010	64,560,000,000 円	129.8	
清水建設株式会社	0.1903	65,570,000,000 円	124.8	
鹿島建設株式会社	0.1899	63,700,000,000 円	121.0	

(4) 落札者の決定

配置技術者の確認等の手続きが完了した12月4日に落札者を決定し、仮契約を締結しました。

今後、平成28年第1回市会定例会において、契約締結について可決いただけましたら、本契約となります。

落札者	竹中・西松建設共同企業体
契約金額(税込)	67,932,000,000 円 (予定価格(税込)71,895,600,000 円、落札率94.5%) ※
工事期間	契約日から平成32年5月29日まで
落札者の所在地	横浜市西区花咲町6丁目145
提案概要	地下2階/地上31階/塔屋2階、延床面積：約140,700㎡、建物高さ：約152m 構造：コンクリート充填鋼管構造/鉄骨鉄筋コンクリート造/鉄筋コンクリート造 中間層免震構造+制振構造

※ 新市庁舎整備費 約749億円のうち、約30億円(低層部内装等工事費)は、平成30年度に別途工事として発注予定

【技術提案の補足資料として提出されたイメージ図】(実際の建物は今後設計を行い決定します。)



落札者の技術提案のうち、主な提案内容を「資料4」にまとめました。

なお、入札参加5者の提案内容や評価委員会による講評などをまとめた入札結果報告書を平成28年1月中旬に公表する予定です。

2 27年度検討状況について

(1) 新市庁舎における執務環境の検討状況

26年度は、現状の執務環境の実態を把握するために、各局へのヒアリング調査や会議室の利用頻度調査、文書量・物品量調査などを行い、27年度も引き続きプロジェクトなどにおいて検討を進めています。

<27年度の主な検討内容>

- ・民間ビルに入居している部門の什器・備品調査
- ・窓口カウンターや相談ブースなどの使用状況調査
- ・各局へのヒアリング調査
(各局の配置、共用会議室や共用書庫・倉庫の配置、セキュリティの考え方等)
- ・「横浜市しごと改革推進本部」の個別ワーキングでの検討
(新市庁舎での働き方や執務環境のあり方)

これらを踏まえて、管理・運営についての方針や方向性を整理した管理基本方針を年度内に取りまとめる予定です。

28年度以降も引き続き、移転計画の検討などを進めていきます。

(2) 商業機能の整備に向けたサウンディング型市場調査の実施結果

新市庁舎の低層部に導入を予定している商業機能(約4,000㎡)の検討にあたり、民間事業者等の皆様から実現可能な整備アイデアを広くお聞きするため、サウンディング型市場調査(民間事業者等の皆様との対話)を実施しました。

ア 経緯

平成27年8月26日	記者発表、実施要領の公表
9月17日～10月8日	対話参加事業者募集
10月19日～30日	対話の実施(9事業者※グループ会社含む)

イ 参加状況

9事業者(※グループ会社含む)

<業種内訳>

デベロッパー3者、プロパティマネジメント事業者4者、商業企画・設計会社1者、施設運営事業者1者

ウ 主な意見、提案

【①立地ポテンシャル】
・ <u>周辺に商業施設が多くあることや馬車道駅の乗降客数等から考えて、商業の立地環境として必ずしも良いとは言えないという意見もありましたが、全体的には特徴づけによる他施設との差別化で、市内外からの誘客を積極的に図ることが十分可能、という意見が大多数でした。</u>
・ 市庁舎ということ自体、すでにビルとしてのブランディングが出来ているという意見もありました。
【②商業コンセプト】
・ <u>参加すること自体が企業にとってPRになるという新市庁舎自体の価値、ストーリーが必要、という意見がありました。</u>
・ 最初のコンセプトがあまりに尖ったものだと、2、3年でうまくいかなることもある、という意見がありました。
【③想定ターゲット】
次のような顧客ターゲットが挙げられました。
・ 来庁者、駅利用者、市域住民、周辺ビジネスマン、国内外観光客、職員等

<p>【④誘客の取組】</p> <p>次のような意見・提案がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>横浜らしさ</u> (例) 地産地消、地元店、横浜を代表する店、横浜ゆかりの店、横浜グッズの販売等 ・ <u>水辺の憩い空間を積極的に活かした店舗 (カフェ等)</u> ・ 民間事業者ではできない、市役所ならではの取組 (例) よこはまを舞台に新しい街づくりに挑戦する企業とその成果の普及促進・PR 施設、よこはま 18 区の地域商店街等からの「これから」を感じさせる取組の紹介施設、健康増進、横浜の情報発信の場、横浜における取組のショーケース等 ・ 周辺エリアや商工会議所、周辺店舗等と組み、エリア全体で魅力を創出すべき など
<p>【⑤店舗構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>飲食店を中心に、その他オフィスサポート機能 (コンビニ、ドラッグストア、クリニック等) で構成すべきという意見が大多数でした。</u> ・ <u>地元店や地産地消等、横浜らしさをテーマにした店舗を入れるべきとの意見が多くありました。</u> ・ <u>ブライダル需要も取り込むべきという意見が数社からありました。</u> ・ <u>フードコートの提案が数社からありました。</u> ・ <u>商業のトレンドは変わってしまうので、区画の位置もある程度柔軟性があつた方が良いとの意見がありました。</u>
<p>【⑥職員 (6,000 人を想定) の昼食需要について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>昼食の単価は低いため、テナントにとって、それだけでは採算が取れない。平日夜間、土日祝日の需要喚起が重要</u> ・ <u>混雑解消とテナントの採算性を考えると、店頭や共用空間での弁当販売やキッチンカー等の導入も有効</u> ・ <u>飲食店の収容人数 (座席数) が少ないと、昼食時に混んでしまうことが想定される。</u>
<p>【⑦屋根付き広場 (アトリウム) や水辺の空間等の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>アトリウム等の空間については、商業運営においても魅力的な空間であり、低層部全体で一体性を持たせるべきとの意見が多くありました。</u> ・ <u>一体性を持たせるためには配置が重要で、例えば、アトリウムに面した店舗配置が望ましいとの意見が数社からありました。</u> ・ <u>アトリウム等の管理・運営についても、商業の運営と合わせて担えるという事業者が数社ありました。ただし、市民・行政利用等とのバランスや規制の厳しさを懸念する意見もありました。</u> ・ <u>参加者が自主的に参加し、運営し、PR もしてくれるような空間とすべきという意見がありました。</u> ・ <u>次のような活用案が提案されました。</u> 朝市、工芸品販売、バザール、周辺児童が安心して集まれる取組、展示会、横浜の情報発信の場、ブライダル対応、演奏会、講演会、プロジェクトマッピング、体験型の教室、ワークショップ、マルシェ、フリーマーケット、市民参加イベント など
<p>【⑧契約形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>規模や運営のノウハウから言って、本市が直接、個々のテナントと個別調整 (完全直営) することは難しいとの意見が大多数でした。主に、以下の事業方式が提案されました。</u> ①賃料保証型マスターリース方式 ②パススルー型マスターリース方式、 ③プロパティマネジメント (管理運営委託) 方式 このうち、②か③が適しているという意見もありました。 ・ <u>テナント賃料については、売上歩合賃料が主流であるとの意見がありました。</u>
<p>【⑨建築設計】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>搬出入動線や従業員用の休憩スペース等、商業機能の運営を踏まえた建築設計の重要性について意見がありました。</u>

今回の調査を踏まえ、商業コンセプトや店舗構成、契約形態等の検討を進め、新市庁舎の低層部にふさわしい商業機能のあり方を検討していきます。

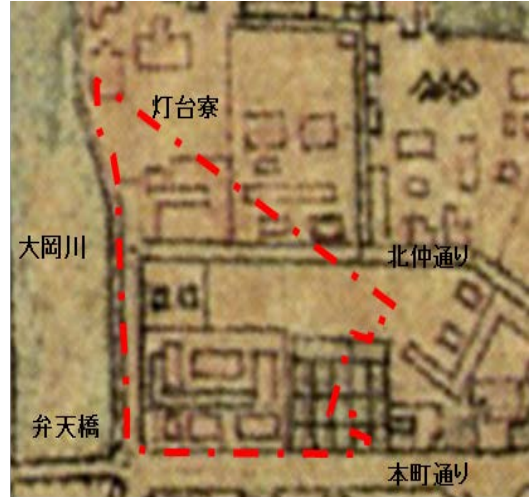
3 埋蔵文化財発掘調査について

(1) 調査進捗状況

地上工作物を撤去する「発掘準備工事」及び埋蔵文化財調査のための「発掘調査委託」の契約を7月に締結し、関係機関との調整や近隣への事業説明・周知を行った後に、発掘調査を開始しました。

調査は、敷地の西側から行っており、これまでに、江戸末期の石積み護岸や震災で倒壊した建物基礎などが出土しています。

【発掘調査位置図】



明治15年測量迅速測図加工

① 江戸末期の石積み護岸



② 大正時代の建物基礎



③ 震災で倒壊した建物基礎と変形した床



④ 明治時代の煉瓦基礎



(2) 今後のスケジュール（調査終了までの対応）

12月初旬から敷地東側へ調査範囲を移行し、2月末までに現地での発掘調査を終える予定です。出土した遺構については、教育委員会の意見を踏まえて取扱いを決定します。

なお、現地での発掘調査完了後は、出土品や写真等を整理したうえで、調査報告書を作成します。

(3) 見学会の開催

平成27年12月19日（土）に発掘調査の現場見学会を開催します。

広報よこはま12月号や総務局管理課のホームページ、現地看板での開催案内などにより周知を図っています。

【開催案内】

発掘調査の現場見学会を開催します

日 時：12月19日（土）10時30分～12時、13時30分～15時

雨天中止 小雨決行

*中止の際は、当日までに総務局HPでお知らせします。

会 場：中区本町6丁目50番地の10（横浜市新市庁舎整備予定地）

内 容：発掘状況を公開し、埋蔵文化財センターによる解説を行います。

解説は、10時30分、11時30分、13時30分、14時30分から10分程度実施その他、自由見学となっています。

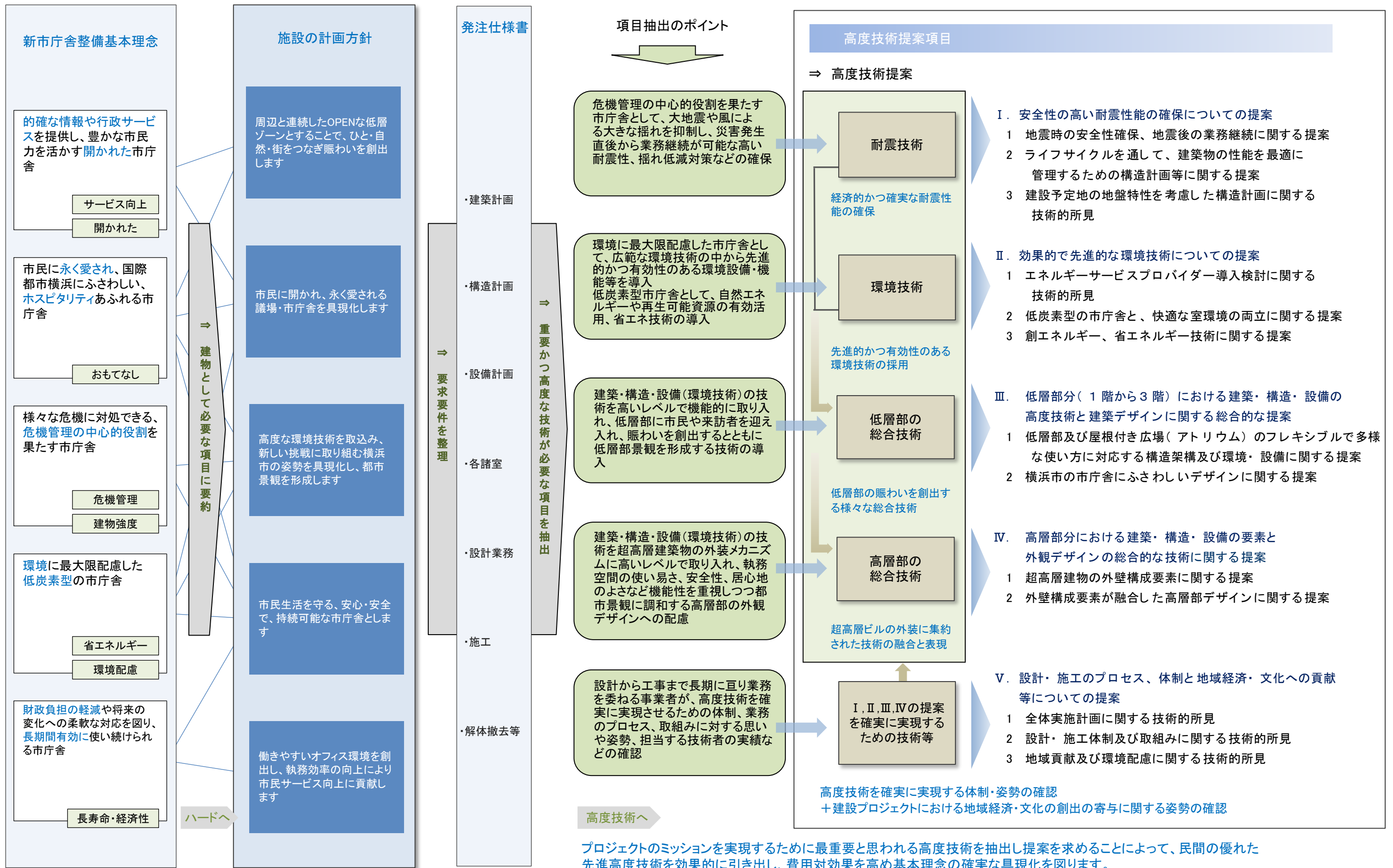
参加方法：当日直接会場へ来てください。（事前申し込み不要・定員なし）

注意事項：会場には、駐車場はありません。公共交通機関等をご利用のうえ、お越しくください。

*取材希望の場合は事前の連絡をお願いします。

4 新市庁舎整備スケジュール（予定）

資料5参照



技術資料等の評価項目と評価基準

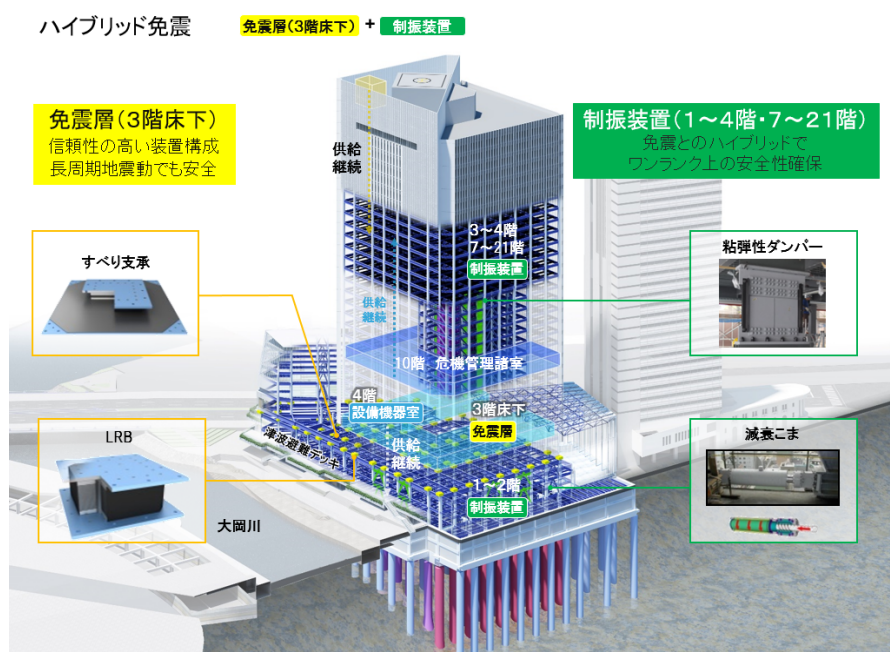
評価項目	具体的評価項目	評価基準	配点	
I. 安全性の高い耐震性能の確保 についての提案	1 地震時の安全性確保、地震後の業務継続に関する提案 (1) 在館者の安全確保、業務継続のための総合的な建築計画の考え方	非常に優れた内容の構造計画である。 4点 標準的な構造計画よりも優れた計画である。 2点 標準的な構造計画である。 0点	4点	15点
	(2) 具体的な構造計画概要と構造耐力上の設計目標値 ア 各階における構造耐力上主要な部材の塑性化の程度 イ 執務室階の床面応答加速度の最大値 (gal) ウ 地上部各階の最大層間変形角の最大値 (rad)	非常に優れた内容の構造計画である。 5点 優れた内容の構造計画である。 4点 標準的な構造計画よりも優れた計画である。 3点 標準的な構造計画よりも若干優れた計画である。 2点 標準的な構造計画である。 1点 要求水準レベル 0点	5点	
	2 ライフサイクルを通して、建築物の性能を最適に管理するための構造計画等に関する提案	非常に優れた内容の構造計画である。 3点 標準的な構造計画よりも優れた計画である。 1点 標準的な構造計画である。 0点	3点	
	3 建設予定地の地盤特性を考慮した構造計画に関する技術的所見 (1) 液状化が懸念される地層に対する基礎等の安全性確保 (2) 工学的基盤の傾斜に対する基礎等の安全性確保 (3) 長周期成分を考慮したサイト波の作成方針	非常に優れた内容の構造計画である。 3点 標準的な構造計画よりも優れた計画である。 1点 標準的な構造計画である。 0点	3点	
II. 効果的で先進的な環境技術に についての提案	1 エネルギーサービスプロバイダー（以下：ESP）導入検討に関する技術的所見 (1) ESP事業者選定に関する業務支援 (2) 横浜アイランドタワーとの連携を考慮した課題と対応 (3) 基本設計におけるライフサイクルコストや環境性能を考慮した熱源構成などの検討	非常に優れた内容の提案である。 3点 標準的な技術提案よりも優れた提案である。 1点 標準的な提案である。 0点	3点	13点
	2 低炭素型の市庁舎と、快適な室環境の両立に関する提案	非常に優れた内容の提案である。 4点 標準的な技術提案よりも優れた提案である。 2点 標準的な提案である。 0点	4点	
	3 創エネルギー、省エネルギー技術に関する提案 (1) 低炭素型市庁舎を考慮した創エネルギー技術と最大限性能を発揮するための技術及び省エネルギー技術	非常に優れた内容の提案である。 3点 標準的な技術提案よりも優れた提案である。 1点 標準的な提案である。 0点	3点	
	(2) 創エネルギー・省エネルギー技術の導入による具体的な省エネルギー効果	非常に優れた内容の提案である。 3点 標準的な提案よりも優れた提案である。 2点 標準的な提案である。 1点	3点	
III. 低層部分（1階から3階）にお ける建築・構造・設備の高度技 術と建築デザインに関する総 合的な提案	1 低層部及び屋根付き広場（アトリウム）のフレキシブルで多様な使い方に対応する構造架構及び環境・設備に関する提案 (1) 大空間を形成する屋根付き広場（アトリウム）の構造架構及び外装計画 (2) 緑化を含む自然環境の取込みとビル風にも配慮した快適制御技術や音響・照明計画 (3) 外壁の防汚・日常清掃対策や維持管理計画とコスト低減	非常に優れた内容の提案である。 5点 標準的な提案よりも優れた提案である。 2点 標準的な提案である。 0点	5点	10点
	2 横浜市の市庁舎にふさわしいデザインに関する提案 (1) 本市の基本構想などやデザインコンセプトブックを踏まえた低層部のデザイン計画 屋根付き広場（アトリウム）のフレキシブルで多様な使い方に見合った空間構成及びデザイン計画	非常に優れた内容の提案である。 5点 標準的な提案よりも優れた提案である。 2点 標準的な提案である。 0点	5点	
IV. 高層部分における建築・構造・ 設備の要素と外観デザインの 総合的な技術に関する提案	1 超高層建物の外壁構成要素に関する提案 (1) 日射負荷抑制や自然採光、自然換気の活用など環境技術を取り入れた外壁構成要素 (2) 防水性、気密性、水密性、耐久性、断熱性を考慮した外壁構成要素 (3) 外壁の防汚・清掃対策や維持管理計画とコスト低減	非常に優れた内容の提案である。 5点 標準的な提案よりも優れた提案である。 2点 標準的な提案である。 0点	5点	10点
	2 外壁構成要素が融合した高層部デザインに関する提案 (1) 横浜市庁舎としての品位と美しさを兼ね備えた質の高い高層部デザイン 中景として近接建物との関係及び遠景として北仲通北地区で予定されている超高層建築群を考慮した群景観計画に関する配慮	非常に優れた内容の提案である。 5点 標準的な提案よりも優れた提案である。 2点 標準的な提案である。 0点	5点	
V. 設計・施工のプロセス、体制と 地域経済・文化への貢献等につ いての提案	1 全体実施計画に関する技術的所見 (1) 基本理念及び整備基本方針を踏まえたプロジェクト遂行の為に目標設定と管理 (2) 設計・施工各段階の工程計画検討における課題及び遅延防止に向けた取組み (3) 別途発注となる工事の設計工程管理における配慮事項と工事発注及び施工管理支援	標準的な計画よりも特に優れた計画である。 4点 標準的な計画よりも優れた計画である。 2点 標準的な計画である。 0点	4点	12点
	2 設計・施工体制及び取組みに関する技術的所見 (1) 設計・施工各段階における課題と専門業者を含めた設計・施工体制の考え (2) 市民に永く親しまれる市庁舎とするための設計体制及び取組み 施工段階における低炭素化に関する取組み	標準的な計画よりも特に優れた計画である。 4点 標準的な計画よりも優れた計画である。 2点 標準的な計画である。 0点	4点	
	3 地域貢献及び環境配慮に関する技術的所見 (1) 地域の文化的活動及び地域経済貢献に関する取組み (2) 現場周辺の環境保全や景観配慮に関する取組み 設計・施工各段階における市庁舎プロジェクトの関心向上と建築文化の向上	標準的な計画よりも特に優れた計画である。 4点 標準的な計画よりも優れた計画である。 2点 標準的な計画である。 0点	4点	

技術評価点一覧

評価項目	具体的評価項目	配点	竹中・西松 建設共同 企業体	大成建設 株式会社	株式会社 大林組	清水建設 株式会社	鹿島建設 株式会社
I. 安全性の高い耐震性能の 確保についての提案	1 地震時の安全性確保、地震後の業務継続に関する提案 (1) 在館者の安全確保、業務継続のための総合的な建築計画の考え方	4	1.6	3.2	2.8	1.6	1.2
	(2) 具体的な構造計画概要と構造耐力上の設計目標値	5	3.2	4.0	2.8	3.2	1.8
	2 ライフサイクルを通して、建築物の性能を最適に管理するための構造計画 等に関する提案	3	2.6	1.6	1.4	1.8	0.4
	3 建設予定地の地盤特性を考慮した構造計画に関する技術的所見	3	2.4	1.2	0.2	1.4	2.2
	小 計	15	9.8	10.0	7.2	8.0	5.6
II. 効果的で先進的な環境技 術についての提案	1 エネルギーサービスプロバイダー (以下：ESP) 導入検討に関する技術的所見	3	1.6	2.0	0.6	1.2	0.8
	2 低炭素型の市庁舎と、快適な室環境の両立に関する提案	4	2.4	3.6	2.0	1.6	1.2
	3 創エネルギー、省エネルギー技術に関する提案 (1) 低炭素型市庁舎を考慮した創エネルギー技術と最大限性能を発揮するた めの技術及び省エネルギー技術	3	2.0	2.0	1.6	0.6	0.6
	(2) 創エネルギー・省エネルギー技術の導入による具体的な省エネルギー効果	3	2.0	2.6	1.6	1.6	1.8
	小 計	13	8.0	10.2	5.8	5.0	4.4
III. 低層部分（1階から3階） における建築・構造・設備 の高度技術と建築デザイ ンに関する総合的な提案	1 低層部及び屋根付き広場（アトリウム）のフレキシブルで多様な使い方に 対応する構造架構及び環境・設備に関する提案	5	2.6	2.6	2.6	1.2	0.8
	2 横浜市の市庁舎にふさわしいデザインに関する提案	5	3.8	3.8	2.6	1.4	0.8
	小 計	10	6.4	6.4	5.2	2.6	1.6
IV. 高層部分における建築・ 構造・設備の要素と外観デ ザインの総合的な技術に 関する提案	1 超高層建物の外壁構成要素に関する提案	5	3.8	2.2	3.8	1.6	1.6
	2 外壁構成要素が融合した高層部デザインに関する提案	5	3.0	1.8	1.8	1.2	2.2
	小 計	10	6.8	4.0	5.6	2.8	3.8
V. 設計・施工のプロセス、 体制と地域経済・文化への 貢献等についての提案	1 全体実施計画に関する技術的所見	4	3.2	2.0	2.0	2.0	1.6
	2 設計・施工体制及び取組みに関する技術的所見	4	2.0	2.4	1.2	2.0	1.6
	3 地域貢献及び環境配慮に関する技術的所見	4	2.8	2.4	2.8	2.4	2.4
	小 計	12	8.0	6.8	6.0	6.4	5.6
	加算点（合計）	60	39.0	37.4	29.8	24.8	21.0
	技術評価点（標準点*100+加算点）	160	139.0	137.4	129.8	124.8	121.0

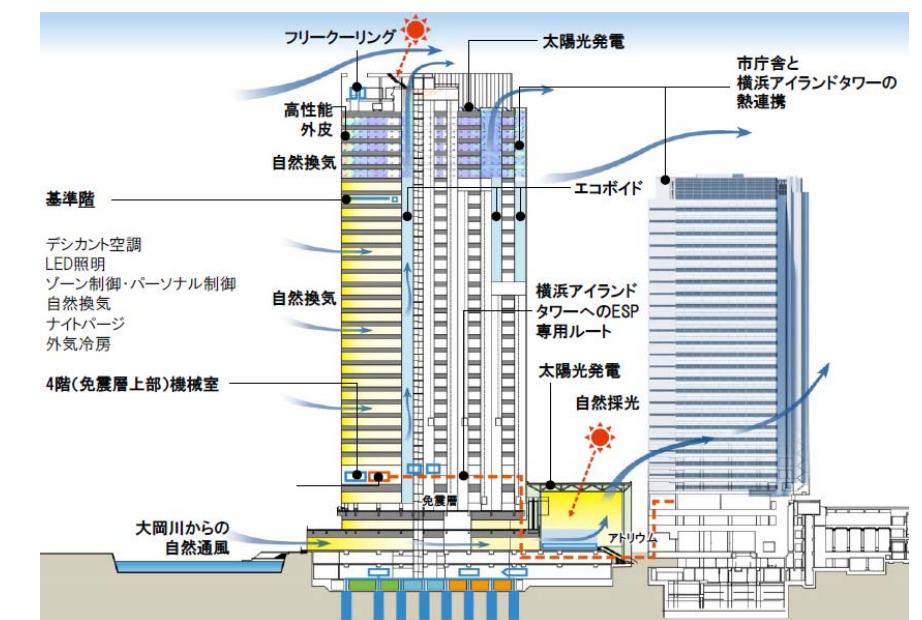
※ 標準点：発注仕様書を満たしている場合に得られる得点

< I >
安全性の高い耐震性の確保についての提案



- ・中間層免震と制振ダンパーを併用したハイブリッド免震構造により、建物の揺れを低減した高い耐震性を確保する提案がありました。
- ・追加の地盤調査や専門的な解析を実施し、建物基礎や杭の設計に反映させるなど、高い安全性を確保する設計プロセスに関する提案がありました。

< II >
効果的で先進的な環境技術についての提案



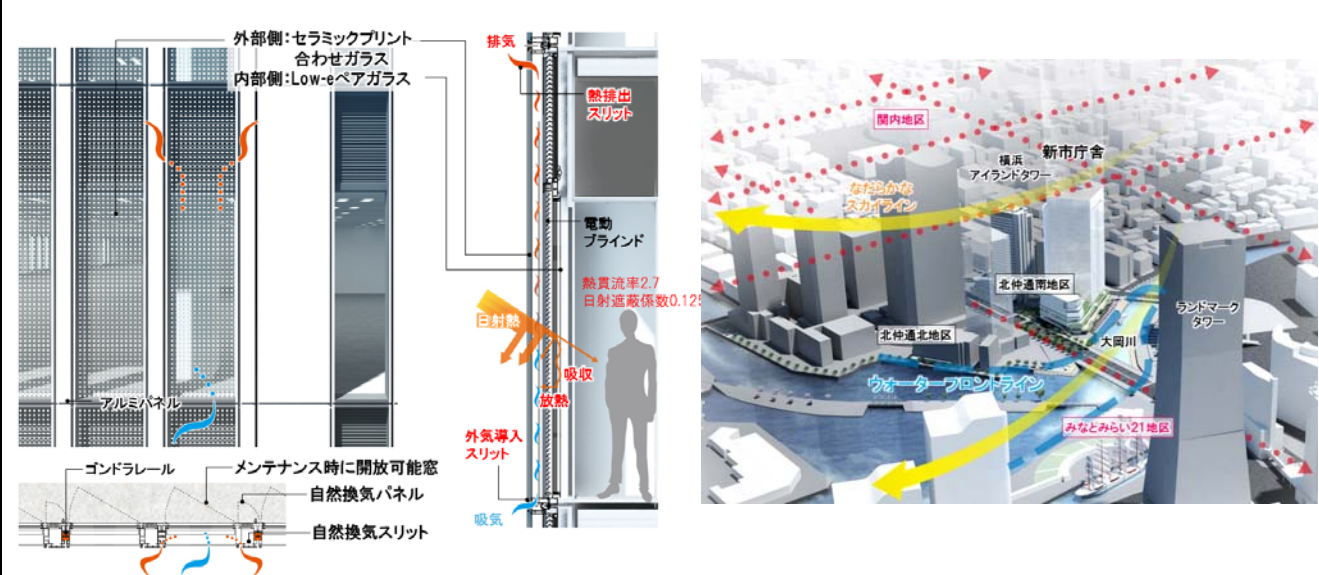
- ・断熱性能の高い外装材の採用や、自然換気など外気の積極的な活用により空調負荷を削減する提案がありました。
- ・効率的で無駄のない運転ができる高度な空調・照明制御の提案がありました。
- ・発注仕様書で求めた消費エネルギー30%削減に対して、約44%削減するという提案がありました。

< III >
低層部分（1階から3階）における建築・構造・設備の高度技術と建築デザインに関する総合的な提案



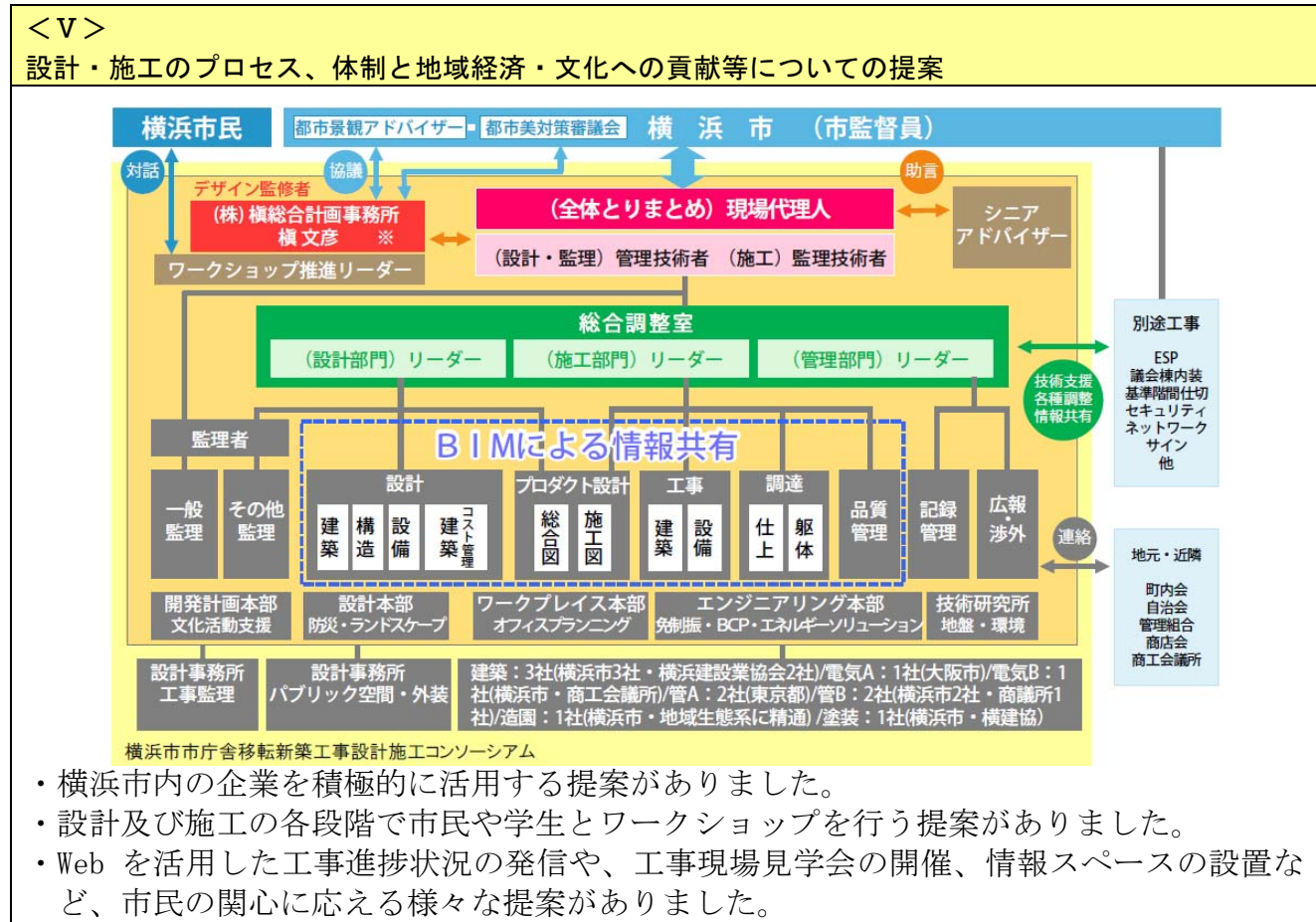
- ・水際線プロムナードから開放空間を通じて、アトリウムへとつながる連続性のある低層部の提案がありました。
- ・北仲通地区まちづくりガイドラインやデザインコンセプトブックに合致し、歴史の重要性を尊重するよう軒の高さに連続性をもたせた低層部の提案がありました。

< IV >
高層部分における建築・構造・設備の要素と外観デザインの総合的な技術に関する提案



- ・高機能な外装材による日射負荷の低減、外装材の長寿命化、メンテナンスへの配慮、清掃作業の安全性への配慮などについてバランスのよい提案がありました。
- ・横浜アイランドタワーや建設予定の北仲通地区のビル群と調和のとれた群景観を形成する高層棟の配置、高さ、デザインに関する提案がありました。

落札者（竹中・西松建設共同企業体）の主な提案



※評価委員会においては、事務所及び個人名を伏せた資料で評価いただきました。

新市庁舎整備スケジュール(予定)

